BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.13

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手 白井正幸

白井正幸さんは今年3月に行われたバス運転手合同就職相談会に参加したのち、6月に函館バスに入社。この夏に運転手としてデビューを果たした。「毎日緊張の連続です（笑）。各路線のルートを完璧に覚えなければならないので、いまはオフの時間に自分の車で各路線を走って頭に叩きこんだり、暇さえあればグーグルのマップでチェックしています」20代から医療技術職につき25年ほど市内の医院で働いたが、職場の閉院と大病を患ったのをきっかけに自分の人生を見つめ直した。「6年前に甲状腺の癌を患い、復職まで2ヶ月間かかったんです。そのときに今後のことをじっくり考えて、残りの人生は自分の好きな仕事につきたいなと思いました」病気を克服し、子育てもひと段落した。第2の人生のスタートを切るならいましかない。白井さんはバス運転手を志すことに決めた。

これまでは一日中建物の中から出ず、顔を合わせる人も限られる職場だったが、いまはその真逆だ。一日中外を走り回り、たくさんの人と接することになる。「おそらく自分自身でもそういう環境を求めていたんだと思います」。職場の仲間たちは、54歳になる白井さんの新たな船出をあたたかくバックアップしている。「私のような素人に対しても、常にまわりの先輩方は『どうした？』とか『なにか困ったことある？』とか、いつも気にかけてくれる。そういう環境だったおかげで、こうして運転手になれたと思ってます。だから何歳でこの世界に飛び込んでも、ここは安心して働ける職場だと思います」。